**学外研修報告**

生物生産技術班　　脇 良平

低圧電気取扱業務特別教育

1.目的

　当農場では、交流アーク溶接機を使用しており、これは低圧電気の取扱に係る業務であり低圧電気取扱業務特別教育の受講が法律で定められている。アーク溶接の特別教育は既に受講していたが低圧電気についてはまだ受講していなかったので、今回正しい取扱、点検方法等を学習し安全な作業が出来るようになる事を目的とする。

2.期間・場所

　　期間：平成　28年11月10日

　　場所：公益社団法人 広島県労働基準協会

　　　　　〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀8-23 8階

3.参加者等

　約36名

4.研修内容

　11月10日 8:50~17:15 学科講習

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科目 | 範囲 | 時間 |
| 低圧電気に関する基礎知識 | 低圧電気の危険性 短絡 漏電 接地 電気絶縁 | 1時間 |
| 低圧電気設備に関する基礎知識 | 配電設備 変電設備 配線 電気使用設備 保守および点検 | 2時間 |
| 低圧用の安全作業用具に関する基礎知識 | 絶縁用保護具 絶縁用防具 活線作業用器具 検電器 その他の安全作業用具 管理 | 1時間 |
| 低圧の活線作業及び活線近接作業の方法 | 充電電路の防護 作業者の絶縁保護 停電電路に対する措置 作業管理 救急措置 災害防止 | 2時間 |
| 関係法令 | 法（編注：労働安全衛生法）,令（編注：労働安全衛生法施行令）及び安衛則中の関係条項 | 1時間 |

 11月11日 8:50~17:00 実技講習 ビデオ視聴（災害事例,救急措置）

5.まとめと感想

　今回は、今まで受講してきた講習の中で最も危険な作業であると感じた。絶縁が完全では無い電動工具や電源ケーブル、夏場の汗ばむ季節での軽装での作業は、手が触れた瞬間に感電し、場合によっては死に至るとても危険な作業であり、日常の作業開始前点検や定期自主検査が大切であると感じた。